

令和 6 年 2 月 2 6 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 渡辺 美絵

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 子宮頸がんワクチンについて

答弁を求める者 市長・教育長

1 子宮頸がんは性交渉の経験のある女性であれば誰でもなる可能性があり子宮の下部、膣につながる部位に HPV と呼ばれるウイルスによってできます。しかし、ワクチンの接種により予防効果が期待できます。この HPV ワクチンですが、副作用の重さが報告され、一時的に積極的な推奨を差し控えていました。令和 4 年 4 月から個別の推奨を順次行っています。望まない人には接種を強要することはありません。このワクチンの公費接種対象者は小学 6 年生から高校 1 年生の女子で、使うワクチンの種類によって 2 回から 3 回接種します。積極的な推奨を差し控える期間を過ぎた後も、自分がキャッチアップ接種の対象であることを知らない方や、そもそもこのワクチンについてよくわからないという保護者の声を聞いております。私自身が積極的推奨をしているわけではありませんが、保護者の判断のみで受けられていない、また、知識がなく受けていないということは避けなければなりません。見附市の現状を数点お伺いします。

- (1) 令和 4 年 4 月から 9 年ぶりに再開したこのワクチンについて、小学 6 年生から高校 1 年生への見附市の対応と接種率などの現状について伺います。
- (2) 積極的推奨を差し控えていたキャッチアップ対象者への対応と接種率などの現状を伺います

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



- (3) 見附市の接種率の現状は県内・全国と比較してどのようなものか伺います。
- (4) WHO（世界保健機関）のホームページでは海外では男性にも接種を公費で行っている国もあります。男性も HPV ワクチンを接種することでパートナーへの感染防止のためには接種の意義が高いとされる点から、男女共に保健の授業等でこのワクチンについて学ぶ機会が必要と考えますがお考えをお聞かせください。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 公立小中学校の適正規模を検討する委員会設置について

答弁を求める者 市長・教育長

1 新年度予算案に市立学校配置等検討委員謝金として118万7千円が計上されております。「タウンミーティングの結果を踏まえて公立小中学校の適正規模のありかたを検討するため学識経験者や市民が参加する検討委員会を設置するとともに市民アンケートを実施」とあります。この内容について以下数点伺います。

- (1) 「公立小中学校の適正規模を検討する」とは見附市が統廃合の検討に入るということでしょうか。
- (2) 学識経験者や市民を検討委員にするとのことですが、詳しい人選方法等を伺います。
- (3) タウンミーティングで得られた結果とはどのようなものか伺います。
- (4) 検討委員会を立ち上げ、議論の末、立場によって様々な意見が出ることが予測されますが、適正な規模のありかたを最終的に誰が判断するのか、手法論やスケジュールについて伺います。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ